

迎春



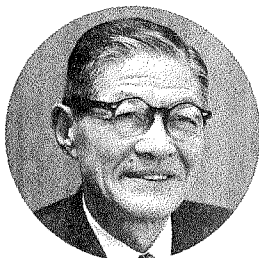
お
お
あ
う
い

第 65 号

発行所
大洗町役場
発行人
加藤 清
印刷所
富士オフセット印刷(株)
〒水戸市31-4241

飲酒運転を
しない
させない
わが家の
ほこり

波濤を越えて



大洗の海のはるけき地平線

生れくる日の一すじゆらぐ

町民の皆さん、明けましておめでとーう、さいます。これは吾が国の著名な歌人鹿兒島寿蔵氏が、大洗小林楼に滞在されていて詠まれた歌です。毎年感ずることですが、特に新しい年を迎え、寒氣のするとい道に立つて、暁暗の中からやがてキラキラ輝やく新潮のうねりを見る時、身も心も引きしまり大自然の神秘さ、そして生命の荘嚴さを感じます。

蔵庫、電気洗濯機の三つが目標とされ、これが第一のバタソンとなりました。ところが四十年次になると更にこれが進み、三K時代、つまりカー（自家用車）、カラーテレビ、クラーとなり第二のバタソン、四十五年に入ると更に三V時代と云われ、ウイザ（海外旅行）ウイラ（別荘）ウイジット（訪問交際）が第三のバタソンとされ更に五十年代に入ればアメリカ流

い生活を目指して進んでいくことは当然ですし、亦人間の荷む経済行為が生活を支える大事な手段であることも否定は出来ません。私達は戦前から或いは戦時中、亦戦後幾多の飢えや貧困を経験してきました。物の不足を感じる危機感も味わつて来た積りです。昭和の初頭、貧困から町では娘の身売りもありました。私達は青年時代、そういう非道さに悩まされずその防止運動をやつたこともありました。今日迄の努力もそういう貧困からの脱却であることは確かであります。戦後永い苦しみを経て、

の荒廃ということも心配される訳であります。それだからといって不満が昂すれば絶望になります。私達は不満と絶望を出来るだけ避けなければなりません。それには物が豊かになり人間の生活が向上するということとは、人間の生活の複合的な現象の一つであつて総てではないという認識に立つことが必要であると思います。そのためには私達の持つている理性・判断力というものを出来るだけ働かかさなければなりません。そして亦人間だけが持つている考える力、即ち意識というものを養えるとい

史がありますがその殆つするまで駿河進出の志を燃やしたほどの魅力ある海、そして亦私達の持つている大洗の海、そこへ築くロマンの香りが高い美しい港、それは私達の持つ未来の夢でしょうか。今年も慎重に力強く進める考えであります。朝起きてから眼に就くまで、今年も慌たしい日々を送ることにしましょう。たゞ外国の哲人が「全き休息の中に、情熱もなく、仕事もなく、娯楽を持たず、努力もなく、おかれる程人間にとって堪えがたく思ふものはない。

新年の

ご挨拶に代えて

町長 加藤 清

正に波瀾万里、眇たる吾が身の想いは無限にひろがって行くのを覚えます。振り返ってみれば昨年は異常干ばつと魚価低落の問題があり心配しましたが、台風等の災害もなく比較的静穏な年であったと思います。たゞ一人一人の立場からみれば、そこには絶えず不安があり赤色不満もあるわけです。例えば物の問題がその一つです。例えは物と問題がその一つの表れであると思います。大体昭和三十一年次は黒黒テレビ、電気冷

に「P」時代と云われ、プレーン（家用飛行機）ブレス（豊場付別荘）プールということが云われています。全ったく果てしがありません。然し、方昨年（の十月頃）から紙や洗剤等の生活物資の不足、そして石油を中心とするエネルギーの欠乏が表面化し逆の現象になっております。一物物の豊かさとか貧しさとかは何んでしょうか、時々そういう疑問が起ります。勿論人間が生きている限り、よりよ

は人間生活の進歩でもあり、亦つはそれが人間の苦悩を増人しているとも云われております。何故なら人間は生きている限り、そうして一人一人の生活を持っている限り、絶えず飢饉感や危機感というものを多かれ、少なかれ持っていると思ひます。従つて或る一つの充足感を持つても、時と共に再び不満を持つことが予想されるからです。そしてこのことは限りのないものであり、このまゝ地域に住む人々が絶えず所得の向上と大量の消費生活ばかり考え、そのための地域開発を追求すれば環境

達の愛する町の風土の中でのような意識が持たれているかということでも非常に参考になつた二つの事例があります。昨年の秋、老人大学の学習が憩の家で行なわれた時、私も出席したのでその時「老人の生きがい」というテーマで講師が老人からアンケートを採つたことがあります。金が必要であるか、まあまあ必要であるか、不必要であるか、という問いに対して4・38・3という比率、勉強することの問いに対しては30・9・1、他人のために尽くすことの問いには36・19・0という割合でし

であつてはならないと思ひます。たゞ人間唯れでも自分に与えられた任務を成し遂げるためには、その過程で色々批判もあり、困難もありましょう。釈尊も次の様に教へておられます。『たゞひたむきにしろるゝ、たゞひたむきに賛めらるゝ、かゝるもの過ぎゆきし日に、はあらざりき、今もまたあらざるなり、やがて来たらん日にもあることなからん』人が一方的に賛美されたり、批難されることは昔もなかつたし、現代にもない。将来にもないであらう。つまり一喜一

発展の成否を決める鍵であり、いかに開発すべきか、英知をあつめ町民の皆さんの総意を結集して、どのようにするかの方角を明らかにすべき年であると考えます。

新しい計画が、地域住民に受け

ギーを大きく育てることを重点にした施策を講じ行政推進に最善の努力を傾注することであると思います。

豊かで、住みよい町づくりの基

本はあくまで住民を対象としたも

その意味において、新しい年、昭和四十九年は住民の皆さんが主権者であるという自覚、関心を持ち、大洗町のもっている特性を生かし、新しい特性をつくり出すために力強く前進していただきたい

のは他人を不幸にして得られるものではないという思想、真の生きがいというものとは他人を不愉快にしたり、犠牲にして成り立つものではないという深い思いやりが表らわれており嬉しく感じた次第で

達も不安と混乱の時代の中から出来るだけ光を見出し、苦悩を克服して生きて行かなければなりません。終りに昨年の十一月、磯浜のP・T・Aが全国表彰を受

新年おめでとう

町議会議長

田山勇之助

入れられるためには、計画策定過程で住民の意思反映が十分に行われる施策を講じ、また、産業基盤の整備や生活環境の整備など、住民の身近な問題をどのようにするかを決め、町自体の発展のエネルギーを確保しなければなりません。また、住民ひとり、ひとりが郷土の繁栄を培う開発に取組んでいく、いわゆる住民参加の行政が、いまの世の中には非常に大切なことであると信じます。

あります。何とぞ、今後なお一層の「べんたん」御協力をお願いします。よう願ひ申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



立大洗高校の開校がありますし、国鉄鹿島線着工の年でもあります。そして、亦、甲斐の武川信玄がその愛妻諏訪御前に対して「自分は、お前以上に愛するものがある。それは駿河の海である」と云った歴

曲「波濤を越えて」の美しいメロデーが聴こえて来るような気も致します。

今年も町民の皆さんのしあわせを心から祈り上げ、新年の御挨拶に代えます。

年末・年始の
愛のパトロール

大洗町青少年相談員連絡協議会では青少年相談員の方々が年間を通して忙しい家業を持ったなかを青少年健全育成と青少年非行化防止活動に日夜情熱をもって従事されております。ことに冬休み夏休みは青少年が学校生活から離れた開放的になるため非行に走らない様に特に熱を入れて活動しており今年も十一月二十三日より一月六日まで担当地区毎にバトール班を六班に編成、年末年始愛のバト

ローを実施いたしました。特に今年は大洗町青少年相談員連協協議会会体の盛り上がりによって会長宅の自家用車を広報車に変身させ、車の周囲を青少年育成標語を掲げ快適な音楽に乗せて町民の皆様・青少年非行防止「恐しいシン・遊び、火遊び、自転車の人々」の禁止「家庭の日の推進」などについて協力の呼びかけを行いました。



消防出初式
はな

正月の恒例行事である消防出初式が七日に挙行されます。県下に誇る大洗町消防団（坂本彦市団長以下三三八名）の精鋭が年頭にあたり、日頃鍛えた技を披露し、火災シーズンに備えて団員の士氣の高揚と地域住民に対する防火思想の普及徹底を図るために行なわれるものです。本町の場合も火災の最も発生は一月から四月にかけて最も多く、損害額についても増大の傾向にあります。恐ろしい火災から私達の安全をこれら消防団の人々が守ってくれているとはいえず、私



交通少年団が発足

が発足
磯浜小学校

結成されました。水戸警察署管内の1市4町2村の小学校5・6年の児童が相寄り、本町では磯浜小

学校の児童達によって大洗分団が発足したわけです。これからの活動を通じて、子供達自身が手をとり合って交通安全運動のリーダーとしての役割を果たされることを期待してやみません。

交通戦争の激化の中でよい立場にあるのが歩行者で、とりわけ幼ない子供達が一番危険にさらされています。しかし子供の交通事故はその大半が、道路上での不注意な遊びや、急な飛び出しがその原因になっています。運転手の不注意はもとよりですが、このような事故をなくするためには子供たち自からの自覚を求めさせる必要があります。そこで楽しいグループ活動を通じて、正しい交通マナーを身につけ、併せて奉仕と協力の精神を養成することを目的に昨年の9月に水戸地区交通少年団が

交通安全功勞団体として

交通安全功勞団体として
 ※ 知事賞受賞 ※
 昨年の9月に開催されました
 第9回交通安全県民大会で、本
 町の鑑金こども会後援会と永町
 こども会後援会がそれぞれ、交
 童の安全能力の育成に尽力され
 た功績によるものです。

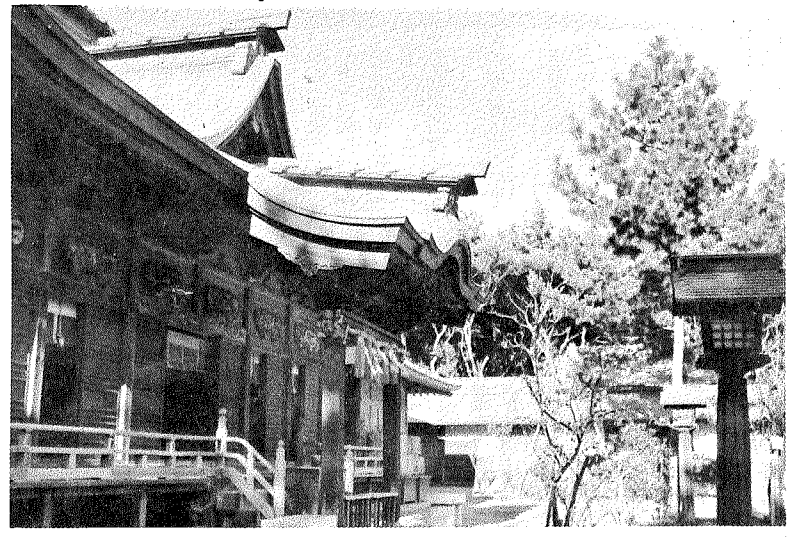
大洗磯前神社

今民を濟わん爲に亦帰り來たる
(後略)と書いてある。そして翌
年の大安元年八月には官社になり
その十月には藥師菩薩名神の名を
授けられた。佐石出現から僅かに
八カ月足らずの内に国司からこれ
を奏上して、それから神社を創り
宮社とし、それから二カ月位で名
神号を授けると云ふあわただしさ
今から二〇〇年

た本縁殿の中に「元禄六年七月七
日鉾子沖合に風波起り、七百五十
六人死んだ、中に本町の漁夫も六
十三人いたが、一人も死ななかつ
た。一齊に本社に祈ったからであ
る。同九年七月二十六日、岩城小
名四倉に暴風が起り溺死するもの
が三千余人、本町の漁人も十五人
その中にいたが一昼夜漂流して商
の元禄三年七月に原義公(水戸黄
門)の奉建によもものであり、山
の中腹にあつたのを享保十五年八
月に義公の養子の爾公が、永禄以
前の旧跡である今の地に引いたも
のである。

明治十八年四月に国幣中社に列
せられたが戦後は宗教法人という
ことになり、この様な格位は廢さ
れた。当時の県内

一デーにことをは
こんだと云うことは何を物語るものであろうか。御祭神の遺蹟が頗る顕著であったのか、その神威宏大で住時の人々が大いに畏れかしこんだのか。
爾来大洗磯前神社は地域の人々の深い信仰の対照となってきた。水戸黄門漫遊記の格さんのモデルであると言われる、安積寛が書いてある船に救われ、皆死を免ぬかれた。これも本社を黙憐したからだ」と云う様な霊験をいくつも数多く書いてある。これは学者の安積寛が当時の里人から見聞したことであり、如何にこの地域の人々が大洗神社を深く信仰していたかがうかがわれるであろう。
現在の神殿は今から三〇四年前が一五社、郷社四九社、村社二五九社、無格社一一一四社であった。昭和四十五年九月に、拝殿本殿共に茨城県県の指定文化財となり、先般解体大修理が行われた。
この神社の主なお祭りは、元旦祭、節分、大々神楽祭、田植祭、八朔祭、有賀祭である。
社のみで他は県社



歳末助けあい運動

心暖る寄附金
三二二一、〇〇〇円

昨年十二月に「みんなそろって
明るい正月をむかえよう」
をスローガンに歳末助けあい運動
を行いました。町民のみならずま
らいただいた番附金品は年内に町
内の生活困窮世帯、老人世帯、母
子世帯、保護更正世帯、在宅重症
心身障害世帯、災害遺児世帯、本
町出身老人ホーム入居者、同児童
養護施設入居者へそれぞれ配分
いたしました。受取られた方々は皆
様の暖いご厚意に心から感謝して
おられました。

寄附をいただいた方々の氏名は
次のとおりであります。

敬称略
▽三千円 角二関根伸行▽三千円
||新町一住民▽五千円||濤友会代

運動

表小沼昇▽三千円 新町小沼敏江
 ▼二千円 新町小沼不二夫▽四千
 七百六十五円 南中JRC▽三千
 円 常陽銀行大洗支店▽三千円 小
 明神町小神野まつ▽二万円 大洗
 ゴルフ倶楽部▽三千円 神明町関
 根猛▽三千円 永町永井なが▽五
 千円 瀧口保育園長瀧口立子▽一
 千円 髭金石井嘉代子▽壹千円 小
 神山寿会▽三千円 夏海地区子供
 会育成連絡協議会▽三千円 永町
 田崎貞孝▽一千円 田崎鉄工従業
 員同▽壹万円 動燃大洗工学ヤ
 ンター▽二千円 山口関多重▽五
 千円 永町前島友三▽壹万円 岩
 喜製綱株式会社▽三千円 大洗町
 剣道造気館長久保田敏夫▽壹千
 一丁自田山清左衛門▽五万円 大
 洗親交クラブ▽壹万円 しぶき

日赤募金

会▽壹千五百円▽永寿会▽三千円
 ▽松寿会▽二万壹千円▽大洗鰯商
 組合▽壹万円▽金沢町関根富三郎
 ▽壹万円▽鋤釜町川崎昇▽八千円
 ▽わんき会▽壹万円▽大洗町クリ
 ニング組合▽壹万円▽原研大洗
 研究所▽壹万円▽大洗町民生委員

日赤募金

去る五月実施しました日赤募金運動につきましては前回の町報でお知らせしましたが、第二回分として納入がありましたので報告いたします。

町 名	氏 名	実 績 額
明11の2	長峰 高司	5,850円
金 沢 1	佐野誠太郎	6,550
金 沢 4	坂本 寅吉	2,700 (追加分)
仲 1	鬼沢 芳明	3,900
新 町 5	小林 司	3,250

非句

大洗木下、又入會

北窓を	塞がずにあり	武者隠し	加藤 宗一
本堂の	寒さ広さを	加えたり	釈 慈雲
藁灰も	埋火なども	なつかしく	真田 空間
雨音も	春のきざしや	月山寺	後藤 静浦
柚子一枝	床の自在に	吊し活け	岸根 混沌
寒月や	反りかへりたる	大庇	後藤 亀泉
お頑強に	示す鑑札	磯開き	飛田 吼石
鹿尾菜礁	波のくらさの	底にあり	広瀬 潮風
火の始末	娘等に頼んで	年終る	富山 敬石
池の面に	浮く葉動かず	寒に入る	田山 寒村

家族そろって楽しい食事をしよう



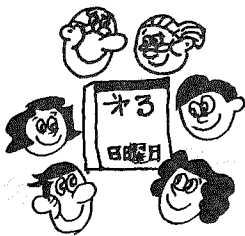
家族みんなで家の内外を
きれいにしましょう



家族そろって
自然に親しみましょう



毎月や3日曜日は
「家族の日」です



次代を担う青少年を心身とも
すこやかに育てるには明るい家庭
づくりをすることが大切です。
そこで「家族の日」を定めて家
族みんなが愛情と信頼に結ばれた
暖かい人間関係を育てる手がかり
にしようとする県民会議が中心
となって「家族の日」運動をすす
めています。みなさんの「家庭で
もぜひ始めてください。

「家族の日」にしたいな
家族みんなが協力しあいまし
よう。
家族みんなが自然に親しみま
しょう。
家族みんなで事故をなくしま
しょう。

大洗町善意銀行へつぎの方々か
ら金品の寄贈がありました。
「芳志」深く感謝いたします。
●ねたきり、ひとり暮らしのお年寄
への寄贈品として
永町 高須茂殿
ラジオ一台
●町内の生活困窮者への寄附と
して
永町 田崎金殿
金八千円也

善銀だより



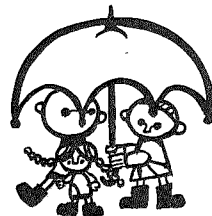
衣料品及び時計

お宅にも郵便受箱
と表札を……



——郵便局からの
お知らせ——

郵便局では皆さんの大切
な郵便を早く、正確、安全
にお届けするため努力して
おりますが、表札の掲出も
れや、郵便受箱がないため
年賀状の配達に大変苦し
ました。
郵便受箱の設置と、表札
の掲出にぜひ協力くださ
い。
なお、郵便受箱のない方
は郵政省標準規格の郵便受箱をお
求めの問い合わせは大洗郵
便局へ(電話二〇二二)



児童手当が49年4月より
義務教育終了前の児童に拡大

現在児童手当は18才未満の児童
を3人以上養育しておりそのうち
の1人以上が昭和38年4月2日以
後に生れた児童でありましたが49
年4月からはこれが義務教育終了
前の児童とあらたに支給の対象
が一段と広がります。該当される
方は児童手当認定請求書を厚生課
へ提出下さい。用紙は厚生課に
用意してありますから保険証、印
鑑を、持参の上お届け下さい。
尚四月以後に届出をされる児童
手当の支給開始が遅れ支給額

ごみと畜犬

住民の皆様方には常日頃地
域の環境整備等について御協
力をいただいております。
住みよい街づくりは私達総
ての願いであります。今後
次の点に留意して尚一層の効
果を挙げて頂きたいと存じま
すので皆様方の御協力をお願
い申し上げます。
①ごみ収集について
1.ごみ袋の搬出期日を守りま
しょう。
2.ごみ袋の口は必ず閉じま
しょう。
3.未加入者はすぐに加入して
ください。
②畜犬の飼い方について
1.登録と予防注射を必ず受
けさせましょう。
2.野放しをさせないで必ず
つないで飼いましょう。

町名	氏名	実績額
明	1 石井孝平	24,500円
"	2 宮内銀三郎	14,500
3区の上	川俣清	8,300
3区の下	関根い志	4,700
4	関根平吉	6,700
5	小野瀬保	9,500
6	沼田貞光	5,800
7	小沼誠	9,600
8の1	清水正伸	5,500
8の2	佐藤四郎	5,000
9	秋山庄兵衛	9,300
10	川上寅吉	6,800
11の1	青柳三雄	12,450
11の2	長峰高司	5,850
1丁目1の上	照沼武雄	7,300
1の下	田山清左衛門	7,700
2	田口常吉	13,150
3	岩崎敏	5,600
4	古川政次	4,050
5	小沼吉太郎	4,800
汐見ヶ丘	日高と	2,000
2の1	才田一郎	6,100
2の2	大津文次郎	9,620
2の3	雨沢初太郎	13,800
仲	1 鬼沢芳明	3,900
2	飛田健助	4,500
3	今関富三郎	15,350
4	後藤進一	5,500
金沢	1 佐野誠太郎	6,850
2	大久保英雄	5,750
3	坂本忠一	8,000
4	坂本寅吉	4,800
5	江橋すみ	9,350
松ヶ丘	1 内山光正	14,000
2	江橋正之助	18,400
3	大貫時男	6,700
4	北富太郎	11,750
5	石部国雄	8,400
祝町	1 阿部清吉	7,600
2	田中重夫	7,300
通り町	1 坂本信	3,700
2	金井勇男	4,000
3	千葉福男	6,700

町名	氏名	実績額
新町1	1 海野正吉	4,000円
1の2	山崎実	1,450
2の1	瀬尾政子	2,400
2の2	飛田雄三	3,000
3の1	磯崎誠一	5,700
3の2	久保木福次	6,100
4	平山栄一	5,150
5	小林司	3,250
5の1	手塚武三	13,750
6	川上清	9,500
7	古渡彦	6,400
8	塙昇	9,150
永町	1 半田好一	5,100
2	田山健次	7,800
3	飛田弥太夫	4,500
4	川上忠功	4,800
5	郡司嘉秀	7,100
6	関辰三	6,200
7	関野資農夫	7,300
8	坂本孝太郎	7,850
9	小沼徳之介	9,500
10	高崎一雄	13,550
11	飯島一之介	5,450
12	平戸勝雄	9,150
13	森山友吉	17,400
14	柴沼浩平	12,000
15の1	関根重雄	8,700
15の2	永田長吉	8,000
16の1	小森邑穂	9,400
16の2	黒川稔	7,500
16の3	坂本幸一	7,000
梶釜	1 柴恒二	11,300
2	新井豊久	4,350
3	鈴木健三	4,900
4	清水一朗	8,450
5	田山福助	9,950
6	橋川国造	7,300
7	飯島基一	9,200
8	神原正孝	9,600
9	浜田よし	7,100
10の1	米川豊	8,100
10の2	小松崎七郎	15,450
11の1	田山安政	17,300

暖かい社会愛大きく育つ
共同募金
119万円集る
全町内ご協力ありが
とうございました

赤い羽根の共同募金は、奉仕者である
町内会長の多大のお骨折と町民みなさん
小中学校・事業所、団体等、各位のご理
解あるご協力により目標額 590,900円に
対し、201%、1,190,057円の実績を収め
ることができました。
この温い社会愛に敬意を表し心より感
謝申しあげます。
募金協力をいただいた町内及び、各事
業所などは次表のとおりであります。
この募金は、茨城県共同募金会を通じ
民間社会福祉事業推進のため、各種老人
ホーム、保育園、児童養護施設、心身障
害児施設などの施設へ適切に配分され暖
かい灯をともします。ご協力まことにあ
りがとうございました。

昭和48年共同募金地区一覧

町名	氏名	実績額
梶釜11の2	石川康	14,550円
寺釜	1 江橋俊雄	5,700
2	渡辺実	7,600
3	柴田政次	3,500
4	西谷文雄	3,600
5	山田保吉	2,400
6	小野瀬勇	5,300
7	平沼正男	6,200
8	重実光	6,600
9	小松崎次男	7,250
10	浅川清	4,160
11	橋与一郎	4,200
12	関根潔	2,900
舟渡	1 金子録司	4,700

町名	氏名	実績額
舟渡2の1	飛田正甲子	4,250円
2の2	浅沼栄一	3,650
2の3	伏見千寿	3,700
3	米川栄次	2,700
蔵前	1 林清	10,800
2	鴨川章	13,700
3	田山勇之助	4,500
4	松山清春	4,500
土宿	1 小島金太郎	4,500
2	中根慶亮	6,400
3	田山国四郎	7,600
仲宿	1 海老沢正	4,500
2	田山小菊	5,500
北清水	1 関根忠文	7,000
2	石田平義	6,000
南清水	1 小野瀬彰	3,600
2	高柳定男	6,500
角一	1 小野瀬一士	5,630
2	松本正雄	8,300
3の1	石井静子	4,500
3の2	杉山みよ	1,500
4	藤沼四郎	4,300
5	鳴原義雄	4,400
6	関根保雄	2,300
前原住宅	1 大川清	4,200
2	田口三男	4,000
3	坂本国一	5,400
原研住宅	1 磯部明	15,000
" 独身寮	稲場幸夫	5,705
動燃夏海寮	大津庄之助	6,315
東北大寮	渡辺俊悦	2,600
神	井上喜惣太	4,000
川	大貫俊一	3,900
荒	谷田口茂	8,400
浜	欠大貫利春	1,600
古	宿杉山栄	9,800
上	宿藤沼正治	10,100
中	宿米川美活豊	7,360
下	宿深作和夫	5,400
矢	場深作涉	2,500
干	拓伊藤清一	2,000
松川報国	1 海老沢敏雄	5,000
第1	米川晋	2,000

町名	氏名	実績額
松川報国中部	小野瀬公道	3,400円
" 共助	大谷清蔵	2,200
" 第2	大谷庄次	3,200
成	田栗保家康	2,800
大谷川	石崎三善	3,000

各事業所団体名寄附一覧

事業所団体名	寄附額
大洗町議会一同	12,000円
野手医院一同	2,010
商工信用組合	2,739
大洗簡易保険保養センター	2,100
大洗クッキングセンター	1,400
大洗パークホテル	5,750
大洗海のこどもの国一同	3,554
大洗郵便局一同	860
常陽銀行大洗支店	3,000
大洗警察幹部派出所	1,000
大洗さつき同好会一同	1,960
大洗町立祝町小学校児童一同	2,475
大洗町立磯浜小学校児童一同	11,157
大洗町立大貫小学校児童一同	11,393
大洗町立夏海小学校児童一同	2,410
大洗町立第一中学校生徒会一同	16,697
大洗町立南中学校 JRC	5,000
大洗観光タクシー	900
磯浜婦人会	2,000
大貫婦人会	2,000
夏海婦人会	2,000
交通安全母の会	2,000
大洗曙荘一同	1,100
大洗ゴルフ倶楽部一同	8,520
日本原子力研究所職員一同	9,245
大洗とうもろこし組合一同	10,600
大洗電報電話局一同	800
大洗漁業協同組合一同	2,900
大洗シーサイドボール・李三奈	10,000
滝口保育園父母の会	5,290
恵泉保育園職員一同	1,000
大洗町役場職員一同	22,572